

Injury Alert (傷害速報)類似事例

加熱式タバコの誤飲による消化管異物 (No. 121 金属片を内蔵した加熱式タバコの誤飲による消化管異物の類似事例 2)

事例	基本情報	年齢：0歳 7か月 性別：男児 体重：8.5kg 身長：72cm
	家族構成	父、母、姉(3歳)、本児
	発達・既往歴	特記事項なし
臨床診断名		タバコ誤飲、金属片誤飲
医療費		入院 165,860円
原因対象	対象名称	加熱式タバコ 金属片内蔵タバコスティック
	入手経路 使用状況	父が購入して使用している加熱式タバコ。タバコスティックに金属片が内蔵されていることは知っていた。
発生状況	発生場所	自宅の居間
	周囲の人 周囲の環境	両親と姉と一緒にダイニングテーブルにおり、テーブルの上に加熱式タバコ置いていた。
	発生年月日	2022年2月X日(月) 午後7時57分
	発生時の 詳しい様子 受診までの経緯	両親と姉で、母の誕生日ケーキのろうそくに火をつけ、部屋を暗くしていた。部屋の照明を点灯したところ、本児がテーブル上にあつた加熱式タバコのタバコスティックの刻み葉部分を口に入れていることに両親が気付いた。可能な限り口腔内のタバコを掻き出したが、タバコスティックに内蔵されている金属片が見当たらず、救急要請した。
医療機関受診時以降の治療経過 転帰		午後8時45分の受診時には、意識状態は清明、嘔吐などもなかった。腹部X線写真で金属片が胃内にあることを確認した(図)。外来で経過観察中に嘔気が出現し、刻み葉部分を3/4本以上誤飲していると考えられたため、胃管挿入して胃洗浄を実施した。胃内容液は淡血性であり金属片による粘膜損傷も疑われた。活性炭を投与して処置を終了し、経過観察目的に入院した。X+1日にも特に新たな症状の出現はなく、腹部X線検査で金属片が小腸へと移動している確認ができたので退院した。X+1日に金属片が排泄されたことが確認できたので外来診療はキャンセルした。X+14日に保護者に電話し、その後も消化管出血など異常を認められずに経過したことを確認した。

キーワード | 加熱式タバコ、金属片内蔵タバコ、誤飲、消化管異物

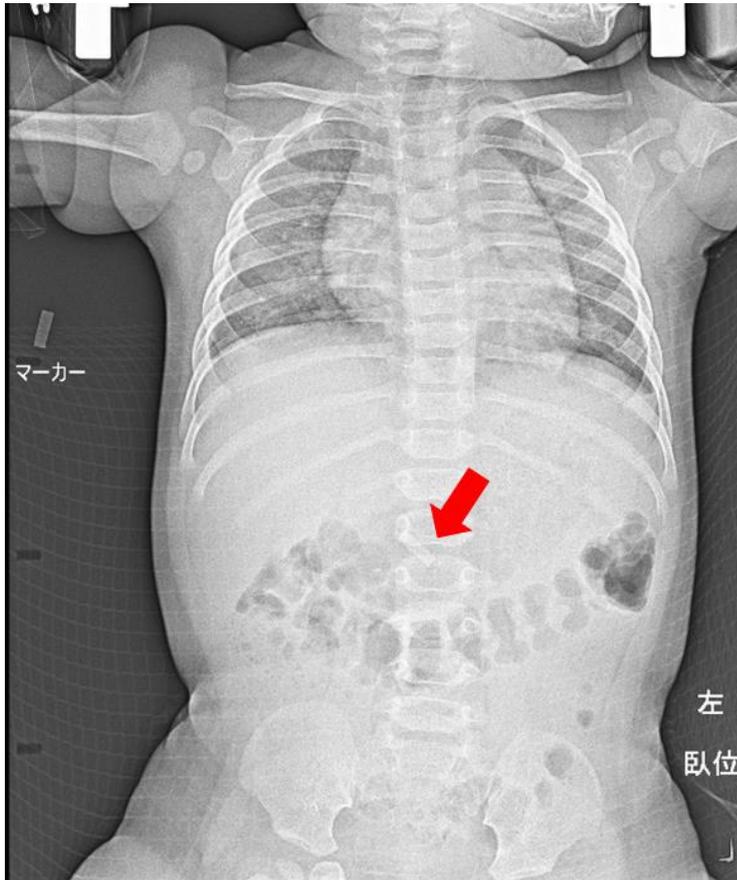


図.来院時の胸腹部 X 線写真

腹部に金属片を認める（矢印先端）。

身体右側に同一の金属片をマーカーとして設置した。